

## 活 動 報 告 書

●活動名：生き物調査

●活動のめあて（目的、目標）：

畑に利用する水がどこから流れてくるのか考え、途中の田んぼにも利用されていることを理解し、水の重要性（つながり）に気づいてもらう。また、水田や水路にどのような生き物がいるかを、自ら捕獲体験・観察することにより、「旭田小周辺の環境を学ぶ」ことを目的とする。

●日 時：平成 27 年 7 月 8 日（水） 9：00～10：40

●天 気：曇り

●場 所：南会津郡下郷町大字塩生

●当日参加者・協力者

参加者内訳	技術指導	人数
県職員	○	5名
小学校教諭	○	7名
児童		53名
地元農家（田んぼ・畑の学校の先生）		0名
田んぼ・畑の学校応援団	○	2名

●当日の活動場所見取り図



●事前準備

前日までの準備	
実施したこと・準備したもの	参考画像
<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査対象地である休耕地の地権者の許可申請</li> <li>・アクアマリン講師との連絡</li> <li>・実施場所の安全確認(踏査)</li> </ul>	
当日の準備	
実施したこと・準備したもの	参考画像
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教諭、アクアマリン講師と当日の活動の流れの最終確認</li> <li>・網などの必要道具の搬出</li> </ul>	

●準備物一覧

準備物	参考画像
下敷き(生きものの種類一覧)、捕獲網、簡易式パックテスト試薬、バケツ(採取用)、バケツ(水質調査用)、水槽  ・児童 帽子、着替え、軍手、飲み物、かご、網(個人の必要に応じて)	

●当日の活動内容

時間	活動内容・作業や指導のコツ等	参考画像
9:00	はじめのあいさつ (次第は、学校作成)	
9:10	移動	
9:15	捕獲・観察活動 調査班と講師の説明・解説を聞く班の2班に分かれ交互に実施した。	
10:40	おわりのあいさつ (次第は学校作成)	

●活動の成果・効果

活動の成果	カエル、オタマジャクシ、アカハライモリなどの生き物を捕獲することが出来た。子どもたちは、網を持ち必死に生き物を探していた。また、捕獲した生き物を講師の方が説明する際は、真剣に聞き、気になることを質問していた。
児童の感想	生き物を触るのが苦手だったが、生き物調査を機に触れるようになった。 今後、家族で生き物の捕獲をしてみたい。 もっと生き物調査をしたかった。ザリガニも見なかった。など
小学校の感想	
地元農家の感想	